

平成30年度（第72期）司法修習生考試委員會議事録

- 1 日 時 令和元年12月10日（火）午前10時30分
- 2 場 所 最高裁判所大会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議事要旨 以下のとおり

議 事 要 旨

（委員長）

開会宣言

第1 司法修習生考試実施結果の概要報告

（幹事）

1 応募者

1495人（資料1のとおり）

2 日程

11月20日から同月26日まで（ただし、23日及び24日を除く。）

3 場所

司法研修所及び新梅田研修センター（大阪市福島区）

4 考試結果等

資料2及び資料3のとおり

不可の科目があった者の割合 0.54%（応募者数1495人中8人）

委員長は、各科目の答案採点担当委員に、本年度の問題及び不可答案の内容についての説明を求め、鈴木委員（民事裁判）、遠藤委員（刑事裁判）、石山委員（検察）、山口委員（民事弁護）、古田委員（刑事弁護）の順に説明

第2 審議

1 合格者決定

(幹事)

全科目可以上の成績を収めた1487人を合格とすることを提案

—採決—

異議なく、幹事提案のとおり可決

2 不合格者決定

(幹事)

不可の科目があった8人を不合格と決定することを提案

—採決—

異議なく、幹事提案のとおり可決

3 不合格者の氏名等発表

(幹事)

委員長の指示により、資料4のとおり不合格者の氏名等を発表

4 受験回数制限について

(幹事)

今回の考試不合格によって、次回の考試が3回目の受験となる応募者が

1人いる旨を報告

—採決—

異議なく、幹事提案のとおり可決

(委員長)

閉会宣言

令和元年12月10日

司法修習生考試委員会書記

同

古屋 慎二

澤田 幸夫

(別紙)

(出席者)

委員長	最高裁判所長官	大	谷	直	人
委員	最高裁判所判事	池	上	政	幸
同	最高裁判所判事	菅	野	博	之
同	最高裁判所判事	宮	崎	裕	子
同	最高検察庁総務部長	畝	本	直	美
同	法務省大臣官房人事課長	濱		克	彦
同	法務省刑事局長	小	山	太	士
同	法務総合研究所長	大	場	亮	太郎
同	弁護士（東京弁護士会）	藤	原		浩
同	弁護士（第一東京弁護士会）	柴	田	龍	太郎
同	弁護士（第二東京弁護士会）	中	村	晶	子
同	最高裁判所事務総長	中	村		愼
同	東京高等裁判所判事	大	段		亨
同	東京高等裁判所判事	青	柳		勤
同	司法研修所長	永	野	厚	郎
同	司法研修所教官（判事）	鈴	木	謙	也
同	司法研修所教官（判事）	徳	増	誠	一
同	司法研修所教官（判事）	遠	藤	邦	彦
同	司法研修所教官（判事）	佐	藤	弘	規
同	司法研修所教官（検事）	石	山	宏	樹
同	司法研修所教官（検事）	渡	邊	ゆ	り
同	司法研修所教官（弁護士）	山	口	卓	男
同	司法研修所教官（弁護士）	鍵	尾		憲
同	司法研修所教官（弁護士）	古	田		茂
同	司法研修所教官（弁護士）	北	澤	尚	登
同（幹事）	最高裁判所事務総局人事局長	堀	田	眞	哉

以上26人